

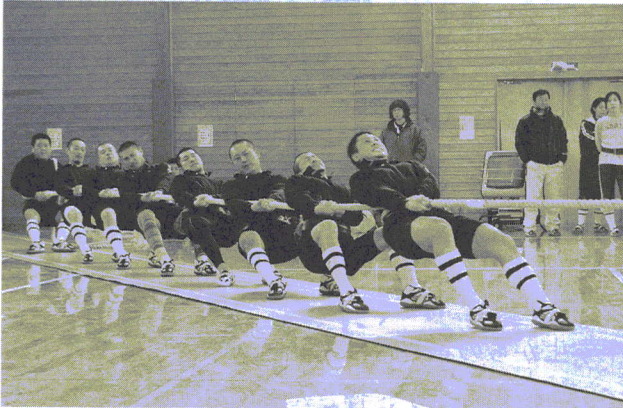
# 南米協会だより

発行所  
富山県南米協会  
〒930-0096  
富山市舟橋北町4-19  
電話 076-441-6148  
FAX 076-444-2179  
北陸銀行県庁内支店  
普通預金口座1098740  
郵便振替口座00760-8-5145

No. 121

## 綱引きで富山と南米を結ぶ可能性

エヴェルソン・レモス



綱引きは、日本やブラジルを含めて世界中において運動会の人気種目として知られています。それほど認知度が高くないのは、「綱引き競技」というスポーツです。国際規則のもとで世界選手権も開催されますし、かつてオリンピックの正式種目であったスポーツです。

日本では、1980年に「日本綱引連盟」が創立され、早速、2005年のワールドゲームズ(選手権大会)において女性・インドア(室内)部門で銀メダルを一つ、獲得しています。

富山県南砺市の「城端綱引クラブ」は、日本トップチームの一つです。1981年から毎年開催される全日本選手権(世界選手権への入口)では、城端綱引クラブは、3位に6回、2位に2回入賞しています。

1月29日に、南砺市生涯学習スポーツ課の安川正課長に招いていただいて富山県内外チーム交流戦を見学しました。ブラジルからの県費留学生吉田マルセロ氏のルーツである城端の親戚訪問を南米協会がその機に同時に計画しました。

交流戦では、男女の選手たちがラグビー選手のようなジャージを着て、綱引き専用グリップ抜群のシューズを履いて体力の限界に挑み、優れたチ

ームワークで迫力満点の試合を次々と見せていました。

城端綱引クラブの選手は、祭日・祝日関係なく週に3回稽古をします。練習では長距離ランニングしたり、何百メートルも重いものを引張ったりして体力づくりに励みます。息子さんが生まれてから綱引きを始めた山下百枝さんは、「綱引きでは足と腰部がかなり強化されるよ。」と推奨しています。

城端綱引クラブ代表の高橋喜良氏は、海外における綱引きの国際競技規則の普及に力を入れ、国際綱引連盟加盟国の増加を期待しています。「現在、国際綱引連盟に61カ国が加盟していますが、オリンピックに参加するには、最低75カ国が必要です。」と高橋氏が説明してくれました。

南米には、未だに加盟国がありません。興味を示す国に対し、城端綱引クラブの幹部が現地まで訪問して、ルール説明、審判養成、大会開催に関する指導等を行う予定です。

ブラジル、アルゼンチン及びペルーに所在する富山県人会を綱引き競技の普及窓口にすれば、富山と南米の絆がさらに強くなるでしょう。さあ、どこの国が先に開拓されるのでしょうか楽しみです。

(富山県国際交流員)



左から高橋氏、筆者、マルセロ君、龍田氏